

Imagine

イマジン

2013. 7. 1 No.5

夏休みまであと3週間。生徒として初めての夏休みをよりよくするための貴重な時間ですよ。「だらだら」よりも「いきいき」と。



文月(7月)の行事予定



月	火	水	木	金	土	日
1	2 45×5+50 6限 数学研究授業	3	4 四者活動	5	6	7
8 45×5+50 生徒集会 6限 理科研究授業	9	10	11 6限 情報教育 四者活動 特別時間割	12 45×4 学期末懇談会	13	14
15 海の日	16 45×4 学期末懇談会	17 45×4 学期末懇談会	18 45×4 学期末懇談会 3限 大掃除 3限 総合	19 終業式	20	21
22 夏期休業 補充教室	23 補充教室	24 補充教室	25	26	27	28
29	30	31				

七夕ですね

☆≡☆≡☆≡☆≡☆≡☆≡☆≡☆≡

幼い頃から、笹に短冊をつけてお願いごとを…という行事にはなじみ深いはず。でも、待っているだけでは願いは叶いません。ここでチョットいい話。

	11	12	13	14	15	16	17	18	
星稜	0	1	0	0	0	1	0	0	3
箕島	0	1	0	0	0	1	0	1×	4

昭和54年甲子園。
夏の高校野球3回戦。

星稜 vs 箕島。1対1で迎えた延長12回表、星稜は、前日から40℃の高熱がある箕島のキャプテンのエラーで2対1と勝ち越します。その裏、箕島は、キャプテンのために…と頑張りますが、2アウトランナー無し。箕島の誰もが負けを感じ始めたその時、次のバッターが監督に言いました。「ホームラン、ねらっていいですか。」そして、その言葉通り、彼はチームを救う同点ホームランを見事に打ったのです。その後、互いに無得点のまま進んだ16回表、またもや星稜が1点勝ち越し。午後4時に始まった試合はすでに午後7時。今度こそ決着をつけたい星稜は必死に守ります。16回裏、箕島の攻撃。2アウトランナー無し。そして、3人目の打ったボールはふらふらと打ち上がりファールフライ。今度こそ星稜の勝利、長い戦いも終わった…と、誰もが思ったその時、なんと星稜の選手がつまづき落球。たまたまその年から甲子園は人工芝になり、段差ができたところにつまづいてしまったのです。命拾いした箕島のバッターが振った次の球は、2本目の奇跡の同点ホームラン！箕島はまたもやギリギリのところでふんばります。延長18回でも決着がつかない場合は、次の日再試合となりますが、結局、4時間にも及ぶ歴史的な試合は、18回裏、箕島がサヨナラ勝ちをおさめました。そして、この年、春夏連覇を成し遂げたのです。

この話から、あなたたちに学んでほしいこと。

1. 自分を信じ、願いが叶うことを信じ、最後まで努力し、あきらめないこと。
2. 「だれかのために」という気持ちは、思わぬ大きな力となって、あなたの背中を押してくれるということ。

期末が返ってきたり、部活動がすこしずつ厳しくなってきたりと、心が折れることもあるかもしれません。努力は報われない方が多い。でも、無駄にはならない！自分のために、人のために、『熱い夏』を送りましょう！

